

## 建設技術講習会が盛岡市で開催されました

～第605回建設技術講習会（災害に強い国土・地域づくり）～

県土整備企画室

平成26年9月17日、18日に盛岡市で建設技術講習会が開催され、全国から約400名の自治体職員等が参加しました。今回は、「災害に強い国土・地域づくり」をテーマとし、「地震・津波防災のあり方」や「土砂災害・火山防災対策」など、東日本大震災津波や近年の気候変動により各地で発生している自然災害に対する予防的な対策の推進等に係る講習会を行いました。本県からは及川隆河川港湾担当技監が「岩手県における震災復旧・復興について」と題して、東日本大震災津波発災からの支援に感謝を申し上げるとともに、岩手県の復興の現状や課題について発表しました。

また、9月19日には、現場研修として陸前高田市や大船渡市等の東日本大震災津波の復旧・復興工事の状況を現地で説明し、工事の進み具合等について理解していただきました。



達増拓也知事による開会挨拶



及川隆河川港湾担当技監の発表



講習会の状況



現場研修の状況

（大船渡土木センター職員による説明状況）



現場研修の状況（陸前高田市職員による説明状況）

○建設技術講習会とは

全国の自治体等の建設技術者を対象に、（一財）全日本建設技術協会が開催する講習会。自然災害対策、社会資本の維持管理、事業実施における課題解決など、業務に直接役立つタイムリーな議題をテーマとしている。